

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

▶ カリキュラム ▲は法務コース登録学生のみ履修可

1年次	2年次		3年次	4年次
基礎	応用		発展	
<p>国際社会の実情を把握し、国際関係法学の基礎を学ぶ。</p> <p>導入科目を通じて、国際関係法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識します。また、国際関係法学・政治学・法学の基本科目を通じて、法学の中核となる専門的知識を理解します。</p> <p>導入科目 法律学習の基礎 法学概論 基礎演習</p> <p>基本科目(国際関係法学系) 国際法 国際取引法 国際組織法 国際ビジネスの法と交渉 国際人権法 国際経済法 国際私法I・II 国際環境法 International Law</p> <p>基本科目(政治学系) 政治学原論I・II 政治史I・II 社会科学総合講座 国際政治学 日本政治論 国際協力論 政治理論 比較政治学</p> <p>発展科目(国際関係法学系) 国際民事手続法 国際紛争解決法 EU法 海洋法 国際知的財産法 Advanced International Law 宇宙法 国際商事仲裁 外国法政I~IV</p> <p>発展科目(政治学系) 国際関係史 政治思想史 国際開発論 地域研究I~III 行政学 現代政治思想 地方自治論</p> <p>法律科目 憲法I・II 経済法 刑法I・II 民法(総則) 知的財産法(概論)(応用) 行政法総論 社会保障法 刑事手続法(刑事訴訟法) 民法(物権) 法哲学I・II 行政救済法 地方自治と法 刑事政策 民法(債権総論) 法制史I・II 雇用関係法I・II 租税法 特別刑法 民法(契約法) 法社会学I・II 労使関係法 租税手続法 少年法 民法(不法行為等) 民事手続法I~III</p> <p>演習・実務関連科目 専門演習I~III 専門外国語IA~IIIB ビジネス実務から見た法学 ▲応用法律学(憲法) ▲応用法律学(刑事訴訟法) ▲応用法律学(民事訴訟法) 特別専門演習 表現技法の基礎 行政実務から見た法学 ▲応用法律学(民法) ▲応用法律学(民法) 英書講読I・II Problem Solving Skills for Global Issues・II インターナショナル・サービス・ラーニング ▲応用法律学(刑法) ▲応用法律学(商法)</p> <p>※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。</p>	<p>国際関係法学を国際社会の実情に適用し、複数の視点から分析する。</p> <p>国際関係法学・政治学の発展科目、専門演習および法律科目を通じて、国際関係法学の高度な知識を修得し、それを用いて法的思考・解釈を提示します。さらに、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較します。</p>	<p>国際社会の課題を発見・評価し、新たな秩序形成へと能動的に参加する。</p> <p>国際関係法学・政治学の発展科目および専門演習を通じて、国際関係法学の概念・理論を前提として、先端的な法的問題を理解・解決する力を身に付けます。さらに、この問題の理解・解決を、諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行います。</p>		

教員紹介

鶴飼 健史 教授	政治理論(特に民主主義、政治主体、主権)	山本 健 教授	外交史(戦後ヨーロッパ国際関係史、冷戦史、ヨーロッパ統合史)
小寺 智史 教授	国際法・国際経済法	C.G.ウインクラー 准教授	政治学
佐古田 彰 教授	国際法	釜谷 真史 准教授	国際私法(特に外国判決承認執行、国際私法上の公序、子の奪取に関するハーグ条約)
高柴 優貴子 教授	国際法	田村 元彦 准教授	政治学(特に「ローカルにおける公共性」の研究)
多田 望 教授	国際取引法、国際民事証拠共助、国際裁判管轄権、貿易金融EDI、国際原子力損害賠償	根岸 陽太 准教授	国際法
野田 順康 教授	国際協力論(国連を含めた援助プロセス)、国際開発論(国際開発の理論と課題)		

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

鶴飼 健史教授

ゼミテーマ ポスト・コロナ時代の政治と社会

私たちの政治・社会が現在直面している諸課題を分析・議論します。本ゼミではまず、現状を知るために必要な政治学、法学、経済学、あるいは社会学を含む、社会科学全般の知の流れを学修します。その上で、個別のテーマを取り上げて、多角的に検討しています。近年のテーマとして、新型コロナウイルスの流行とその対応や、東京オリンピックをめぐる評価などがあります。



ZOOM IN カリキュラム

International Law

国際法は今日、国家間レベルのみならず企業や都市レベルでも用いられ、その知見が生かされる場合は拡大しています。将来さまざまな案件に多様な背景を持つ人々と共に取り組めるよう、国際法実務に携わってきた教員と共に、国際社会の共通言語としての国際法の使われ方を問題の文脈に則して英語で理解し表現する訓練を行います。

国際ビジネスの法と交渉

福岡は日本の中で一番、韓国や中国などに近い大都市で、博多港を中心にした国際貿易には、企業はもちろん福岡・九州の県や市も取り組んでいます。この授業では、国際ビジネスにおける交渉スキル、また国際物品売買条約や国際商事仲裁などの紛争解決の法を学びますが、これらの知識は民間就職だけでなく公務員を目指す人にも役立ちます。

主なゼミテーマ

- 現代社会と政治学の諸課題
- 国際家族法をディベートで学ぼう!
- 映画を通じて考える、ストーリーとしての国際法
- 社会と映像とメディアを読み解くために入門編
- ディベートで国際取引法・国際民事手続法・国際私法を学ぼう!
- Current International Topics

STUDENT'S VOICE

論理的思考力で、自分を“伝える力”を高める。

熊本地震の時、避難所で聞いたアナウンサーの方の“声”に不安が安らいだ経験から同じ道を志すように。夢の実現に向けて国際的な時事問題への理解も深めたいと思い、本学科を選びました。「基礎演習」の授業では、与えられたテーマについてチームごとに討論を行います。結論を裏付ける根拠を明確にするため、論文やWEBサイトなどを活用して、事前準備を徹底。示した根拠に対して相手がどう思うかまで考えたうえで討論に挑んでいます。ロジカルに話を組み立て、より分かりやすく話すことは、アナウンサーになった時にも役立つと確信しています。

法学部国際関係法学科 3年

神元 七海

(熊本県・済々黌高等学校出身)

国際関係法学の面白さ
私が思う
自分の考えに至るまでのプロセスで、さまざまな考えや視点に気が付く

